





審査結果報告書

平成 27 年 1 月 19 日

主査 氏名 海野 信也 

副査 氏名 金井 昭文 

副査 氏名 興高 俊之 

副査 氏名 加藤 里絵 

1. 申請者氏名 : 細川 幸希

2. 論文テーマ :

Retrospective evaluation of intravenous fentanyl patient-controlled analgesia during labor
(フェンタニルによる患者自己調節鎮痛法を用いた分娩時鎮痛に関する後方視的検討)

3. 論文審査結果 :

分娩時鎮痛の第一選択である区域麻酔法の代替手段として、フェンタニル全身投与を用いること、出生後の新生児に与える呼吸抑制などの懸念がある。申請者は、分娩Ⅱ期のフェンタニルの経静脈的自己調節鎮痛法 (iv-PCA) の使用、新生児に及ぼす影響について、自然分娩と剖宮産との比較を目的とした研究を行った。方法は前記の通りである。フェンタニル iv-PCA 群 143 例を抽出し、自然分娩 697 例と比較対照群として検討した。結果として、初産婦のフェンタニル iv-PCA 群にあり、自然分娩群に母体痛を抑制する有意な効果は認められた。また iv-PCA 群には新生児の副作用を認めず、臨床的に有用な方法であると示された。申請者の研究は、設定された授与方法の臨床上的意義のありかを明らかに示している。以上の研究を基に本論文は、独創性や学術性など非常に高く、学術論文にふさわしいと認め、加えて査読者質問の応答も的確であり、本論文と学術論文との審査結果は合格と判断された。